

☆わたしの意見

これからの アジアと日本

竹田剛男

（関西貿易株式会社
代表取締役副社長）



日本とアジアは当然のことながら、長い歴史を通じていろいろな面できつてもきれない関係にあります。

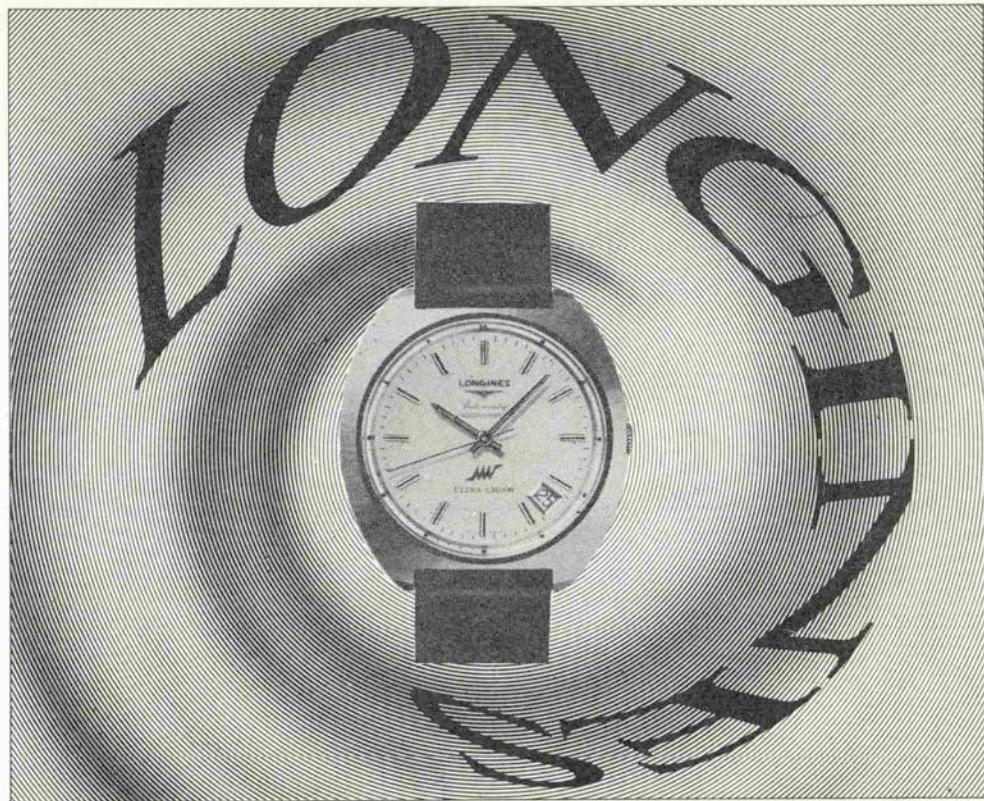
現在の日本と東南アジアとの関係を経済的な面からみてみると、貿易に関しては一方的な出超、すなわち日本から東南アジア方面への輸出が圧倒的に多く、東南アジアからの輸入量は輸出量に比べてはるかに少ないのが現状です。この一つの理由として、日本が東南アジアから必需品として輸入すべきものが東南アジアには少ないということがあげられます。そこで考えられることは、日本が東南アジアの開発途上国に資金の貸付けや技術指導をして現地の生産性を高め、日本が買えるようなものをつくるように援助、協力することが一つの方法です。

現在、東南アジアにはあらゆる種類の日本製品が氾濫したかも日本がアジアの市場を独占しているかのようない感もあり、それがエコノミック・アニマルという代名詞でよばれ、一部では彼らの反感をかつてもいるようです。しかし日本は又外からみれば大変大きな消費国でもあるわけですから、東南アジア諸国にとって大きな市場ともなりますので、日本へ輸出できるようなものを生産し、日本も東南アジアからいいものをうんと輸入し、共生共栄できるようにしたいものです。これは仲々難しいことかもしれません、これから日本はもはや自国の利益だけを追求していくのでは経済の発展は望めないのでしょう。もっと広く国際的な立場から日本をながめることが何よりも大切で、東南アジアを豊かな国にすると、それがひいては、長い目でみて付加価値として日本の利益にもなるわけです。

数年後にポートアイランド沖に関西新国際空港ができるば、神戸とアジアの距離はより一層近くなり、人的、物的交流も増え盛んになるでしょう。こういう大きな立場から考えても、アジアの諸国から日本に来られる人達を暖かく迎え、できるだけ多くのものを吸収し、眞の日本良さを理解してもらうよう努力することは私達一人の責任といつてもいいと思います。

最高のものを厳選する人に

ロ・ンジン



ウルトラクロン・クロノメーター ステンレス側皮付 (No.8355) 105,000円

スイスの伝統にはぐくまれた
アートの感覚と最新のメカニ
ズムから、この斬新なデザイン
を生みだしました。
世界のエリートに信頼され、

最高のものを厳選する人々
に愛用されてきました。現代
を生きるあなたにふさわしい
時計を、ロンジンの中から
お選びください。

 **LONGINES**

特約店
 **美甲時計店**

元町店・元町三丁目 TEL33-1798
三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL33-8798

父の赴任について神戸に来てもう三年たちます。

神戸は海あり、山あり、外人に

とって住みやすい街。冬、スキーや

行きたいなと思ったら、すぐ後

が山、夏、泳ぎたいなと思ったら

近くに海があるし、快適です。

東京にも三度ほど行つたことが

あります。が、神戸の人々は東京の人

よりずっとフレンドリー。東京は

時間なんかものすごく正確で、全

い。



この前の万国博では、チリ館の

ホステスをしました。他の国、そ

れもまだ余りよく知られていない

国の方が知りたかったから。そ

して、日本のお百姓さんやビジネ

スマント主婦やいろんな階級の人

と話しがしたかったからです。

日本語は六ヶ月勉強しましたけ

れど、最初は、地方出身の人のア

カに、ウエスタンや日本の歌謡曲

を聞きながら、本を読んだりして

いる方が好き。洋服も自分でデザ

インして創ります。ただ日本の生

地は高いので本国から送ってもら

います。ウイーク・エンドには六

甲山へ行つたり、京都にもよく行

きます。今は奈良のティー・ガーデンが見たい。神戸は、京都、奈

良にも近くて便利ですね。

日本はアメリカからいろいろなも

のを学んで、非常にモダンになつ

たけれど、インドは一五〇年間も

イギリスの支配下にありながら、

インド独自の古い良き文化を受け

継いでいます。

神戸も、東京や大阪のようにビ

ルの乱立する街にならぬよう、神

戸アトモスフィアを大切にしてい

ます。でも話をしたのは学生が殆んど
で、学生と話すのはとても面白か

遅れるけれど、人間の優しさに神

戸の良さがあるように思います。

ことに神戸の女性はとっても優し

ホーム ファーリング

ミナ・ガットゲ

ハインド・聖ミカエル国際学校・英語教師Ⅴ



てにおいて実用主義。でもそれが人間性を失っているように思えてなりません。

東京をタウン・ファーリングの感覚とすれば、神戸はホーム・ファーリング。インドはホリディの感覚

クセントが違うので、わかりにくくて困りました。大阪弁と神戸弁でも非常に違います。大阪の人はRの音が多く聞えます。

何故、チリ館に勤めているか聞いて、インドの事を聞いて、それから日本の事、日本人についてどう思うか……。大体質問は決つていました。

でも話をしたのは学生が殆んどで、学生と話すのはとても面白か

った。アイディアがとても漸新で、政治とかヒッピーとか人種差別とかについて話しました。

よく勉強していると一番最初に感じました。そして外国の生活を非常に知りたがっていました。た

だ余りディスカッションに慣れていないので、一つの物事を他の方

から眺めないような所も見受けられました。でもそれは、言葉の不自由さのためかもしれません。

私は外へ出るのより、お家で静かに、ウエスタンや日本の歌謡曲

を聞きながら、本を読んだりして

いる方が好き。洋服も自分でデザ

インして創ります。ただ日本の生

地は高いので本国から送ってもら

います。ウイーク・エンドには六

甲山へ行つたり、京都にもよく行

きます。今は奈良のティー・ガーデンが見たい。神戸は、京都、奈

良にも近くて便利ですね。

日本はアメリカからいろいろなも

のを学んで、非常にモダンになつ

たけれど、インドは一五〇年間も

イギリスの支配下にありながら、

インド独自の古い良き文化を受け

継いでいます。

神戸も、東京や大阪のようにビ

ルの乱立する街にならぬよう、神

戸アトモスフィアを大切にしてい

ます。それが私の好きな街、神戸へのお願いです。

日本に来たのは今回で四度目、約一ヶ月の短い期間ながら朝八時十分に神戸住吉の寮を出て、大阪高槻の住友化学地方研究所に九時二〇分に入る。帰りはその逆とハシで押したような生活ぶり。でも二年前に来た時と比べて、若い人の生活がよりデモクラティックになったことを感じました。

実用主義の影響が非常に強く、行動にも現われてきて、昔みたいに

日本を急速に発展させた底力になつてゐるんじゃないでしょうか。韓国人は数年内に急速な経済的安定がもたらされると、同じ職場に長くいられるようになるかもしれません。もっとも北方騎馬民族系の韓国人には職場を変ることがアン・モラルだという感じの方はあります。そのせいでしょうか。

住吉寮では純日本式の生活をし

てきました。

十畳の畳の部屋で、帰ったらすぐ風呂に入つて、ドテラを着て、食事も日本食です。韓国では、温突といって、石の床の上に紙を敷いて、床の下から暖めてその上に寝ます。それと比べると、ちょっと寒かったのですけれど、私はどちらかといえば暑がりの方ですから不自由にありませんでした。

それと日本に来て不思議なのは一つの職場に二〇年も三〇年も勤めて、職場を移り変わらないことです。韓国では二、三年で変わつてきます。考えてみると、一生二つの仕事をする——それが戦後の

規律ばつたところがありません。

私のおりました住友化学地方研究所でも、上の人が下の人が和やかに、冗談をいいあつたり、生活がほがらかですね。

それと日本に来て不思議なのは一つの職場に二〇年も三〇年も勤めて、職場を移り変わらないことです。韓国では二、三年で変わつてきます。考えてみると、一生二つの仕事をする——それが戦後の

困ったのは日本茶です。韓国で

● 隨想三題

疲れなかつた 日本の夜

白 南哲

△韓国の慶熙大学校副教授△



日本を急速に発展させた底力になつてゐるんじゃないでしょうか。韓国人は数年内に急速な経済的安定がもたらされると、同じ職場に長くいられるようになるかもしれません。もっとも北方騎馬民族系の韓国人には職場を変ることがアン・モラルだという感じの方はあります。そのせいでしょうか。

住吉寮では純日本式の生活をしと、又気をきかしてくれてお茶お茶お茶。コーヒー一杯も飲まないのにどうして眠れないのか、と思つたら、お茶が原因なんですね。日本人はお茶に免疫が出来てるけれど、水のようなつもりで飲んでると大変です。

神戸は西洋文化の発祥地という雰囲気がどことなしあります。先にいいましたように、仕事オブリ一で殆ど出歩かなかつたのですけれど、会社の女子社員は「神戸はいい」といいます。「どうして?と聞くと、「ステーキがおいしいし……」「それから?」後はどうしてか笑つてばかりで話しません。どうやら食い気より色氣の方で何か良いことがあるようでした。

一度日本酒をおでんで飲みました。コップが錫で造つてあるのが変わつていて面白かったです。でもローマ帝国時代、鉛のコップでブドウ酒を飲んだ。その結果、鉛毒で早死したのが滅亡の原因ではないか……なんて話を思い出したりして、しかし、おでんと酒は二つがともも合つて、忘れられないおいしさです。

私は昨年暮、マレーシアのシンガポールから神戸にきたばかりで現在、神戸Y.M.C.Aで日本語を習うかたわら、六甲道と池田市で日本人の人たちに地理と歴史を教えています。

日本の子供たちは大変理解が早いので教えるのが楽しみですし、私のおぼえたての片言の日本語で話かけるととても喜こんでくれるので、毎日子供たちに会えるの

における一番重要度の高い公用語の一つですので、英語教育はすべての学校で行なわれ、マレーシア人の多くは英語を理解できます。

日本には「日本語」という一つの言語しかありませんが、多民族国家であるマレーシアには①英語、②マレー語、③中国語、④タミル語の四つの言葉があり、それがまたいろいろな問題を複雑にしています。

● 隨想三題 楽しい 日本の生活

ウマ・デビ

△マレーシアの英語教師▽



が嬉しいです。

マレーシアの教育システムは日本のそれとは若干違い、六歳で幼稚園、七歳と十二歳が小学校、十三歳と十六歳が中学校、十七歳と十九歳が高等学校、二十歳と二十三歳が大学となっています。

◇

私はシンガポールの東南アジアユニオンカレッジで英文学を専攻したのですが、英語はマレーシア

外国语から日本にきた人は、日本語が大変むずかしいとよくいいますが私は別にそうは思いません。というのも、実は私の兄も九ヶ月前に日本にきたばかりなのですが、もう日本語をかなり流暢に話すことができるからです。ですかく私は、日本語は、文字はともかく話し言葉としてはそれほど特別にむずかしいものとは思えないのです。

私は以前、タイプや速記も練習し、その資格ももっていますのでマレーシアに帰りましたら、この技術と日本で学んだことを十分生かして、いい仕事をしたいと思っています。

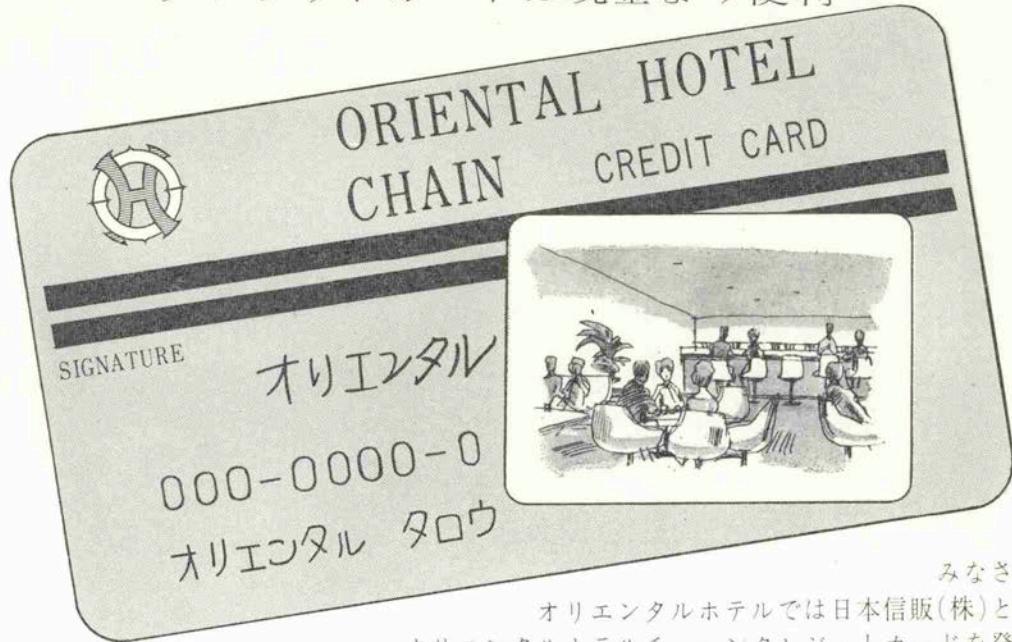
日本は戦後急速な経済成長をとげ、すばらしい工業国に発展しましたので実は私も驚いていたのですが、日本に来て日本人の働きぶりを見ていて、なるほどとうなづけました。本当に日本人の冬の大変寒いことです。マレーシアには四季がなく、一年中平均気温華氏八〇度ぐらいの暑い夏だけなので、この冬は私にとってはじめての冬でしたので、この寒さはかなり身体にこたえました。

それと、慣れないことは日本のお金の考え方によつととまどいましたがそれもすぐ慣れましたし食べ物に関しても全然困ったことはありません。今や日本のウドンやテンプラ、それにお茶は私の一番好きな食べものの一つになりました。

私は以前、タイプや速記も練習し、その資格ももっていますのでマレーシアに帰りましたら、この技術と日本で学んだことを十分生かして、いい仕事をしたいと思っています。

クレジットカードを大切に！

クレジットカードは現金より便利……



みなさまの
オリエンタルホテルでは日本信販(株)と提携
オリエンタルホテルチェーンクレジットカードを発行！

お泊りから喫茶まで…快適なホテルライフが楽しめる
価値あるカードです

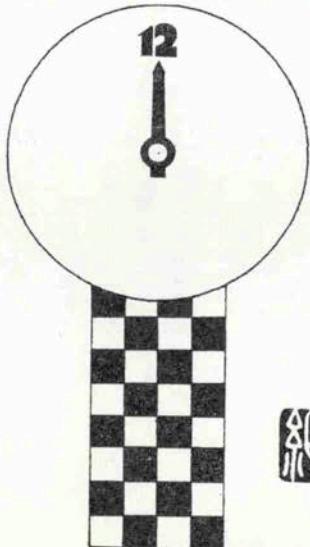
●お申込み、お問合せは

オリエンタルホテルクレジット係 T E L (078)39-4305
日本信販 神戸支店 T E L (078)34-6501

天体画の記憶

神戸ものがたり

稻垣足穂
え・河野通紀



私は「汽車」というロケットに乗って、初めて神戸三ノ宮駅に上陸した。

自分は大阪船場（北久宝寺町）の生まれだが、祖父母が明石に住んでいた関係で、たびたび神戸を通過していく。三ノ宮駅を西に向かって発車すると、間もなく右側に、巨きな白塗り丸いカゴをつべんにくつつけた格子塔が近づいてくる。即

ちタイムボールで、正午になると、あの玉が垂直に落ちて港内の碇泊船に時刻を知らせるのだと判つたのは、もう関西学院中学部にいた時である。この玉付きヤグラは、自分にとって「最初のオブジェモビル」であった。

タイムボールは半日の旅の道標でもあった。何故なら、奇妙な塔が見え出すと、明石はもう程近

いのだから。汽車が神戸駅に停ると、駅名を書いた札が不思議に思われた、その二字は、アマテラス大神がきげんをそこねて隠れてしまった岩戸を連想させた。その「神の戸」を、何故コーベと読むのであろうか？

ついで湊川新開地、楠公社境内の水族館、背山のイカリのマーク、笠戸丸見学（これは元バルチック艦隊所属の病院船だったそうである）等々があつて、いよいよ神戸市への正規の上陸は、大正三年三月、関西学院中学部へ入学願書を出しに行つた日のことである。

三ノ宮駅は今日の元町駅で、あそこはちょっとした高台になつてゐるから、当時は南口を出ると東と西へのだらだら坂になつてゐた。神戸の知識は、東は三ノ宮駅を通る南北線、西方では兵庫駅を通過する子午線どまりだったので、不案内は東郊の関西学院めざして、阪神電車が利用されたわけである。その終点は滝道であつた。電車を降りて山の方へ長い坂を登つて行くと、左手に原田ノ森が迫つてきたから、母と私は「岩屋駅」に下りたことになる。自分の頭の中は、先刻三ノ宮駅を降りてすぐ目にとめた、驚くべきもののことで一杯であつた。

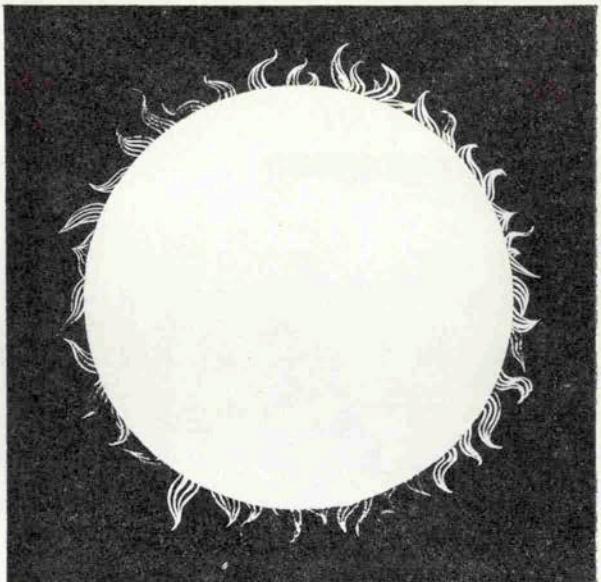
三ノ宮駅南口の坂を東へ下つた所の右側に、洋菓子店があつた。入口だけの改造だつたが、赤屋根付きの洋風建物だつたかは忘れてゐるが、ともかくハイカラーナな店であつた。私が中学部二年になつた春に、ある日の帰りに級友が今の店で新発売のミルクキャラメルを買つて、その中の一箇を私にくれたのである。兵庫駅を出た汽車がひろびろした野に出るなり、私は車窓から首を突き出し

片頬を春風に打たせながら、ポケットから小さなキヤラメルを取り出してパラピン紙を剥いだ。青リボンを伸べた海の手前にライシングサン石油のタンクが銀色に光つてゐるのを眺めながら、口の中へほうりこんだ。森永キヤラメルは十銭か七銭であつた筈だが、まだなかなかにミルク臭い、西洋菓子の仲間であつた。

——このキャンディストアの前を、母と連れ立つて通り抜けながら、私は薄暗い内部の、向つて右側の壁面に、美しい色刷りの広告画が懸つているのを目とめた。

それは、赤い円錐帽をかぶり、緑色の長いガウンをつけた天文学者のおじいさんが、バルコニーに望遠鏡の三脚架を立てて、谿谷の向うの岩山上に照つてゐるニコニコ顔のお日様を覗いている所であつた。太陽といつても、普通の画で見かける青空をバックにしたそれではない。いつたいお日様が、他の星や月やホウキ星に較べて、何か野暮つたらしいのは青ぞらのせいだと私は思つていた、いつたん青空と雲を取りのけて、太陽を真黒な空のまんなかに置いたならば、素敵な天体に一変するだろう。そんな黒い天に出てゐる太陽で、そのふちはコロナの翼で飾られ、黒い地には白い横文字が数行並んでいた。

交叉する所の右側にあつた、「各学校御用達」の札が
出ている裁縫店で、関西学院をたづねたのであるが、
奥から立ち現われた若い女の人の白い丸顔が、とたん
に綻びて、まあ！ ということになった、それは私の
姉の清水谷女学校時代の級友だったのである。(姉は自
分よりも十以上の年上であつた)



加しているのだから、三種の広告画の随一かも知れなかつた。

大正も十四年頃、東京に移つていた私は思い出して、三ノ宮駅下の洋菓子店へ、「以前、お宅の壁に懸つていた太陽の画は、何というお菓子の広告でしたか」と問い合わせの手紙を書いた。「三ノ宮駅南口洋菓子店御中」としたのであるが、勿論返事はなかつた。実はその店がまだあるのかどうかも自分は知らなかつた。それに、あの石版刷はたつた一度見たにすぎないことにも、私は気付いたのである。

あの日、母と私は、長い坂道が上筒井の通りと

ス、マシマロウ、スガ一等々の香りが入りまじつた店の前は通らなかつたのであるやがて私は三ノ宮駅南口から通学の汽車に乗るようになつた。その後の春には友だちがそこでミルクキャラメルを買ったにも拘らず、自分はあの絵に注意しようと教えてくれた。このために帰時には、各種のパンから発散するものと、ビスケット、ポンボン、ドロップ

文學者の緑衣の一つ一つのひだに面白い陰影を織り出していたお日様はどこへ行つたのか？ 今日では月旅行をすれば、「真黒いバックにひつかかっている太陽」にお目にかかることができる、しかし、それは眩しくて到底正視にたえないのである。

□ ずいそう

フラメンコの ばらと汗

鴨居羊子

私のオフィスの近くにフラメンコばかりおどる所タブラオ・マドリッドがある。

ある日吸いこまれるようにその地下にある穴倉のようなタブラオへいつてみた。暗く四角く区切られた部屋はばらの天井と壁におおわれ、田舎の芝居小屋より小さい舞台に、毒々しいまでの原色のスカートのひだをけちらしてジプシーたちがおどっていた。その怒気にも似た足音、女の執念にも似た長く裾びくスカートのひだ、興奮をせきたてるようなカステネット、そしてうら悲しくはげしいギターと歌。



踊るサラ・レサーナ

地上とは全く異った暗いあでやかな別世界が、この穴倉にムンムンとこもつていた。私はひきずりこまれるように毎晩この穴倉へ入りこみ、ある日「踊り子になろう」と決心した。そして習いだした。大分たつて、一週間だけ舞台へ立たしてもらうことになった。赤い水玉の木綿のフラメンコドレス。後にすらりと並んだジプシーたちのオーレの掛け声と共に、おどりだしたとたん、何と靴が片方、ホームランのようにお客の頭をとびこえて、カウンターのもう少しでナベの中へ入りそうに飛んでいった。半泣きのままお客様がもつてきて

くれた靴をはき直し、それでも決してジプシーは曲を止めないため、チグハグのままおどりつづけた。でもスゴスゴと私は舞台をあきらめた。カルメンが「ワタシもよくクツバス」となぐさめてくれた。

一年のうちにサラ・レサーナとその師匠のミゲル・サンドバルが毎晩、この舞台に花を咲かせた。私はまた涙をながし、熱狂し、オーレーを連発する日々をすごし、またもや、ミゲールに本式に習うこととした。といつても、こんな名人ほどの教え方をするのが興味をもつたためもある。

ところが、こちらが素人であろうが、彼は全くおかまいなしの徹底的なスペルタ訓練がそれも毎日一時間、ムチと共に行われた。私が太っているため三十分は床の上にねてレスリングもどきの基礎体操もある。おかげで三カ月で十キロも減った。

もちろん私はプロの踊り手になるわけでもないが、この教え方を通じて彼らの生活姿勢、自らおどることでフランエンコの底にあるもの知ろうとした。この私に対して彼はサディスティックなまでのムチ、徹底、くり返し、正確さ、叱咤で向ってきた。全身汗まみれ、死にそうな息づかいの私はこの師匠はサディストだ、サディストだとくり返しながら、靴をガタガタとめちゃめちゃに床をふみつける。ミゲールは舞台では、まるでコマの芯か、らせん状のねじ釘のように十回もの驚くべきビルエットを空中に描いてみせる名人だ。そんな彼が初歩の私の足順をゆつくりと手をとつて横でおどってくれるのを、何とまあもつたいないなあ——と呆然とみとれていると、「ナニ、ナニ、ボンヤリしないで、もつとつよく——、もつとゆつ

くり、三カ月あとでははやく、忘れないように！」

とたちまちどなられる始末。

人間が人間を心からドナリ得る自信。このよう

な二つの自我の相剋の重さを、私はあらためてフ

ラメンコから教えられた。

レッスン中の私のかつこうはみられたものではない。洗濯屋のビニールの袋か何かを脚やお腹にぐるぐるまき、分厚いタイツとズボン、分厚いシヤツ二枚で、全身ムシ風呂どころではない。しかし、一日じゅう体をうごかさないで仕事に忙しい私にとって、一日一時間の肉体の酷使と汗と自分のムチ、緊張は、絶対といつていいほど必要だ。いつの日か、みにくいあひるの子がつばさのそろつた大人の鳥になるように、私は汗の練習衣から裾長い本格的なフランエンコ衣裳を身にまとい、カステネットと大きなセンスをもち、ばらをかざして、情熱のあらん限りをおどりに完全にたくすごいができるのだろうか。お供にギターを抱えた少年のジプシーをしたがえ、私の靴音と彼の靴音。そして私のスカートと彼の空中を舞うギターがからみ合い、その音色と歌につつまれて、私はおどり狂うことだろう。

△ファツション・デザイナー▽



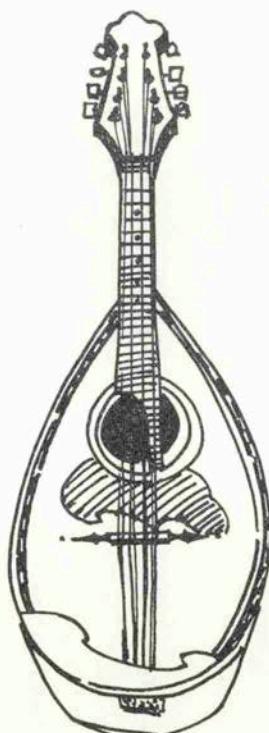
鴨居羊子さん

□ ずいそう

音楽は 心のきずな

モース・斎藤

え・中島節子



ボビュラー音楽は世界中どこででも愛され、音楽には国境というものはありません。

特に神戸には神戸独特の音楽というものはなく、神戸にいると世界中のどんな音楽でも楽しむことができます。というのも「神戸っ子」は他のどの都市の市民よりも国際的な感覚をもつていてるからでしょう。

神戸にはいろんな国のいろんな異った人達が住んでおり、それぞれ一人一人の考え方、感じ方も違いますので神戸の音楽の層はなかなか幅広く、バッハからカラックにいたるまで種々様々の音楽が愛されています。

それは私が担当している「ミュージック・アラウンド・ザ・ワールド」にくるリクエストをみてもわかります。この番組に対するリクエストは毎月一五〇〇通から二〇〇〇通、多い時には三〇〇〇通にもなることがあります。その中でも神戸からの葉書がいつも一番多いのをみても神戸の人々の音楽の幅広さがうかがえます。

しかし逆にいえば、神戸は音楽の幅が大変広いということは、一体どこにポイントをおいたら神戸の人々に一番喜こんでもらえるのかがつかめず、それがディレクターにとっては頭痛の種にもなつてゐるようです。

もう一つこの番組にくるリクエストでおもしろいのはリクエストして下さる方の七十五パーセント、多い時には八十パーセントが男性だということです。

この一つの理由として、現在FM大阪はアンテナを立てないで聴こえませんので、アンテナをわざわざとりつけて聴くのは男性だからだと私は思うのですが、いかがでしょうか。

しかし五月からFM大阪も六甲山から中継放送されるようになりますので、そうなればアンテナがなくとも聴こえますから、もっと多くの人がこの番組を楽しみ、神戸からのリクエストもより多くなること思います。

今までこの「ミュージック・アラウンド・ザ・ワールド」は日曜日を除く毎日午後十二時から二時五十五分まで放送し、同じく夜七時から七時五十五分まで再放送しており、両方を含めまして約三百万人の人達が毎日この番組を楽しんで下さい、関西汽船ではこの放送をテープに録音して、航行中に船内で乗客の皆さんに放送しています。昨年四月に始まつたこの番組も、この春で一年を迎えましたので、今月からは少し企画を変え、「ミュージック・アラウンド・ザ・ワールド」を日曜日の午後七時と七時五十五分に、土曜日は新たに「ラッキーブレイブエンド」として午後十二時から二時五十五分まで放送されています。

私はアメリカでの学生時代、音楽学部に籍をとき、大学には放送局がありましたのでディスク・ジョッキーなどを担当していたことがあります。ラジオにてもテレビにても、私はアナウンサーといふものはエモーションよりもファーリング

が大切で、個人の感情をあまり表には出さない方がいいんじゃないかと思います。

ところで二十世紀文明が生んだ大都市にはたくさんいます。神戸もその例外ではありません。音楽はそうした孤独な大人のなぐさみともなり、心の絆ともなります。神戸は大人も子供もいつしょになつて音楽を楽しめる街です。まわりを見廻してごらんなさい。山、海、船、港、元町通りやセンター街、そして何よりもセンスのいい神戸つ子たち、これらすべてが「神戸」という街をつくりあげ、幅広い音楽をうけ入れる要素になつています。私はレコードを聴くと、たとえそれがどんな曲であつても何となく神戸にうまくマッチするのをいつも感じます。

ここで大切なのは、音楽と私達の毎日の生活との結びつきです。私達が住んでいる環境、すなわち空気、水、海、浜辺、山、街路、それに生活状態を改善し、より住みよい神戸にすることが音楽を愛する私達「神戸っ子」にとって大切なことだと思います。

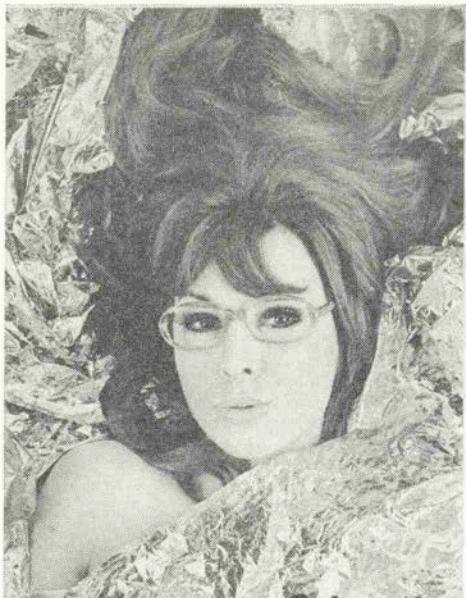
物質的には豊かになり量的にはいろんなものも増えましたので、そろそろ私達の生活の質を高くするよう努めましょう。

(バルモア学院理事長／アナウンサー)



モース・齊藤氏

新学期・ご就職にそなえて



★ヨーロッパのトップモードの直輸入を服部メガネが
オリジナルパターンに。

★豊富なストックで度付カラーレンズがすぐできます

★

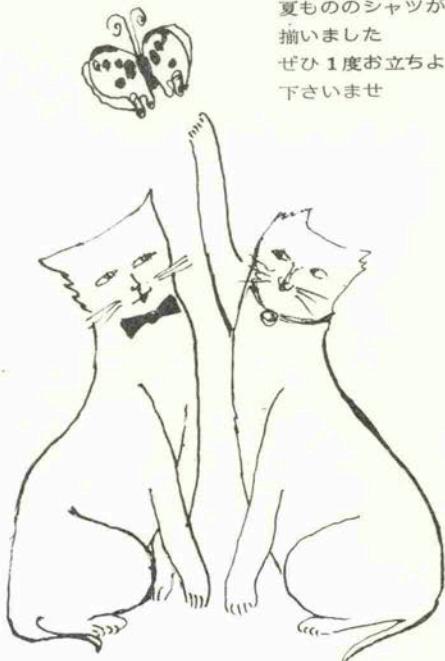
顕微鏡・天体望遠鏡・航海計器・光学器一般

服部メガネ店

神戸・大丸前 TEL 33-1123

KOBE CAT SHIRT

夏もののシャツが
揃いました
ぜひ一度お立ちより
下さいませ



よろず御機衣縫上処

神戸シャツ

神戸店—神戸大丸前 33-2168

東京店—東急・日本橋店 1階 211-0511内線219

東急・渋谷本店 4階 462-3433

広島店—広島・福屋 1階 47-6111 内線333

神戸にオーケストラを



■出席者

小寺 嶽

〈神戸国際会館顧問〉

横井和子

〈ピアニスト〉

小杉博英

〈大阪音楽大学エウフォニカ管弦楽団指揮者〉

中村仁策

〈神戸中央合唱団指揮者〉

★神戸で真先にと希望する外来の音楽家が多かった

編集部 神戸の音楽といいますと、音楽ファンも多く、その土壤はあるようですが、神戸で良い音楽を聞く機会というのは少ないように思います。今までの神戸の音楽の歩みはどのようなものだったんでしょうか。

小寺 戦前は神戸での音楽界は非常に盛んでした。ことに外来の音楽家は神戸でまっ先にと希望してくる人があつたぐらいだといわれています。それほど神戸は音楽の聴衆も多かつたし質も高かつたと思います。ところが戦後、段々東京、大阪が活発になり、あれだけの聴衆があつたのにこうなったというのは、いろいろ問題もあると思いますが、会場がなくなつたのが原因じゃないでしょうか。そういう条件を満たすために、県、市、財界が神戸国際会館を作つたんですが、なかなか昔のようには戻せなかつたんですね。数年前、京阪神三都市で一年間に開かれている音楽会の内、ほんとうに神戸に持つて来たい、神戸の文化の向上にも役立つという一流のものだけをとつて統計的に調べてみたのですが、神戸で開かれている音楽公演の回数は大阪の3分の一、京都の半分という状態でした。労音、労演などの鑑賞団体を加えると、この差はもっと開いていた。

小杉 神戸に質の高い聴衆がいた、これは事実だと思うんですよ。それが今のお話のように会場がなかつたということで、神戸の人は良い音楽を聞くのは大阪へ行くんだ、という風に育てられてしまつたんですね。だから現在も神戸の音楽の水準が低いということは一つもないと思うんです。中村先生のやつてらっしゃる中央合唱団とか、土曜会、コーコ・ポルテニオ等、他の大阪や京都には育たない歴史のある合唱団が三つもある。この事から見ても、神戸の音楽の層の根強さが絶えていないと思います。横井先生は実際に演奏なさっていらしてどうでしょか。



小寺 岩氏

横井 私共、長年の経験で申しましても、やはり大阪で演奏することが多いですね。神戸の方も大阪までお出かけ頂いているように思います。神戸に住んでおりましたらやっぱり、機会があれば神戸で演奏して聞いていただきたい、また大阪の方にも神戸に出て来ていただきたいそういうことをいつも感じてまいりました。

中村 アマチュアの立場から申しますと、私共聞かせて頂く立場なんですが、神戸には優秀な音楽家が非常に多いですよ。それが三人の方おっしゃっておられましたように皆逃げられてしまう。入れ物がないのとそれを何とかパックアップする大きな、はつきりいうと市とか県とかが、国際都市といながら理解がとぼしい。オーケストラ一つ育てようとしたことが影響してるんですね

小寺 素地はあるんですが、神戸で活躍しにくい、とい



横井 和子さん

うことで大阪へ流れて行く。会場が少ないと、それも中ホール、小ホールのないことが一番の障害ですね。横井 千名前後のホールが、ピアノのリサイタルとか個々のリサイタルにほしいですね。余り大きいと動員の方も大変ですし、何しろ私共は演奏活動するのに、孤軍奮闘でございましてね。他の国のようにパックがございませんから。

★未来性のある（？）日本の音楽

小寺 外国には沢山ありますね。パブリック施設だとう考え方で、あくまで文化の振興のためにということでお建てられ、運営されています。日本のように商業主義でやっていく国は少ない。立派なパブリック・ホールあり、立派なパブリックオーケストラがありますわね。それと音楽の楽しみ方が違います。向こうでは生活に溶けこんでいますからね。日本では音楽にしる芝居にしろ、お客様は若い人ばかりでしょ。向うにいくと、おじいさん、おばあさんが手をつないで仲よく音楽を楽しんでる。それだけ日本は底が浅いというか……逆に、若い人はつかりだからこそ、日本の音楽は未来性があるんだという人もいますけれど（笑）結婚したらもう音楽界へ行かないというのが、日本では現実ですね。（笑）

横井 今、政治の中心になつていらつしやるご年配の方からはこ趣味が違います。難しい時期ですね。

小寺 確かに今の指導的立場に立っている人たちが育った時代は、どれほど音楽や演劇が盛んであったか、又音楽や演劇が社会にどのように受け入れられていたか、考えますと、現代とは雲泥の差でしょ。しかもそういう方が今の若い人たちが音楽や演劇をどういう風に楽しみ受け入れているかを見ようとしていない。そこに断層があるんじゃないかと思いますね。

小杉 京都は京都の街の伝統に加えて市のオーケストラ編集部 他都市の例はどうですか。

★十年前に生まれた神戸フィルハーモニーの動き



小杉 博英氏

を持つっています。毎月定期演奏会やつてもいつも若い人たちが集つて来る。その他京阪神の音楽教室的な演奏会も沢山やっています。現状では大阪と余り変りがないんじゃないでしょうか。

小寺 京都は市が今のオーケストラ持つてゐるし、大小二つのホールをもつ立派な京都会館を建てましたね。二千四百と千二百ですか。これが非常役立つてますね。そこに京都府が去年、京都府文化芸術会館というのを建てましたが僅か四百席です。本当に芸術を鑑賞するには四百席以下じゃないといけないというのが蜷川知事の抱負でして、大きな赤字を覚悟で建てられました。先日、坂井知事にお会いして神戸は優秀な音楽の人材がいるのに、大阪や京都へ逃げてしまつて残念だとお話ししますと、県庁西庁舎の地下の小ホールを開放しようと下さいました。



中村 仁策氏

編集部 最近になりまして、市の方も市民ホールの動きが本格化し、入れ物の方は漸く実現の見通しがたちまつたが、本当の意味での文化の中心になるには中味がいるわけです。その意味でも、神戸フィルハーモニーを作ろうという動きがあることを小杉先生の方から伺いまして、ぜひ実現して頂きたいと思うのですが、そのいきさつはどういうものだったんでしょうか。

小杉 約十年前、小寺先生が国際会館の常務取締役をなさつて時に、第三回市民劇場公演の際、三合唱団と合同でやつて、その中で、神戸交響楽団と名付けたデビューオークションを兼ねた演奏をしました。市の方にも話しかけて、小寺先生にもいろいろご尽力を頂いたのですが、そのまま何となしに立ち消えになつて、かれこれ十年たつてしまつました。それが去年の五月に、宮崎市長からオーケストラのことについて話しがしてみたいというお声がございまして伺つたところ、今のお話のように中央公会堂の建設に合わせて、オーケストラを設置したいお考えのようだと察しまして、メンバーのこと、活動のことなどいろいろわざわざお話ししまして、今予算案を出してあるところなのです。

これは神戸の三合唱団の伴奏など大変親しくおつきあひしていますエウフォニカ樂團を主体として、仮称“神戸フィルハーモニー・オーケストラ”。ということでお願いしているわけです。再三再四、神戸にオーケストラを、という話が出ても、何か消えてしまうのが実情でした

が、今回は市長さんの深い理解と皆様のご協力で陽を見る日が近いんではないかと思っております。

小寺 現在神戸オーケストラを作ろうという動きが二種類、三团体があるんですが、その内の一つが、小杉さんのおっしゃつたもので、いま音楽家として活躍される方が集まって、プロのオーケストラを作ろうという動

きです。それを小杉さんは市に働きかけて、市有のオーケストラにしようとしていらっしゃる。

もう一つはアマチュア文化活動としてのオーケストラです。それに二つ团体がありますが、新聞にも出ましたのが、岸井祐史さんたちの『神戸交響楽団』もう一つが崎満、小林博史さんたちの『神戸コンサート・オーケストラ』この二つは付近の音楽大学を新しく卒業したあるいは在学中の若い人たちが中心になつたアマチュアオーケストラなんですね。

横井 私はくわしくは存じませんでしたが、アマチュアの方々の楽団は必要だし伸ばしていくべきものでなければども、まず形として、京都市や大阪市が持つていてるような楽団が神戸にあることが望ましいと思ってまいりましたのですけれど……。

★いや交響楽です！

中村 話ちょっと別になりますが、前NHKのテレビで、高知県の土讃線の終点の中村という小さな町に、管弦楽団があると聞いたんです。私この前足摺へちょっと遊びに行つた時に向うでタクシー乗りまして「こんな田舎に管弦楽あるそやないか」と聞きまいたら、タクシーの連ちゃん、誇らしき気に「いや、交響楽ですよ！」（笑）旅館へ行つてよく聞きましたら、なかなか立派なものですよ。私はハモニカ吹いて器楽合奏ぐらいに思つてましたら、（笑）何の二管編成の、足らん時には高知から呼んでき三管編成ぐらいの立派なものです。恥ずかしくなつたりして（笑）

横井 音楽では一番基になりますね、オーケストラが。

小杉 山の方から神戸を見て、この都市にオーケストラがないなんて信じられますか？京阪神の神にだけオーケストラがないのを、今回は公会堂の建設にも合わせて何か育てたい、是が非でも実現が見たいというのが僕の切なる願いなんですよ。

横井 これは専門にやつてるもののお願いといいますより、もっと高い立場から眺めた場合、神戸全体の文化の原動力になると思うんです。普通の音楽にさほど関心のない方でも、神戸市に交響楽団がある、そして安い料金で聞きにいけるとなると、そこからまた音楽人口が育つてきますし、若い人から年寄りまで心の潤いになります。測り知れない力になると思います。

中村 私、アマチュアの立場からいいますと、ちょっと大きなものをしようと思いますと、大阪音楽大学の学生さんにお願いしてやっておりましたが、十年程前に、先程お話しに出ました神戸市民劇場公演の時に、その時のオーケストラのコンサート・マスターが小杉さんで、私、プロのオーケストラでやつたことがなかつたものでこわごわでね（笑）でも私らのやうなものでも非常に協力的にいろいろ教えて頂いて、それ以来、谷藤雅也さん（エウフォニカ楽団指揮者）にお願いして、毎年伴奏をお願いしますが、つくづく神戸市のオーケストラの必要性を切実に感じますね。

横井 しかしアマチュアの合唱団などが一緒になつてやれるオーケストラがあるということはこの地の音楽振興に非常に良いことです。

横井 楽しいですからね、オーケストラを合わすってことは、本当に生がいを感じますからね。若い音楽家を育てる意味でも、オーケストラがどんどんそういう機会を提供して下されば。

小寺 いま、音楽大学で器楽をやつている人は皆、合奏活動を希望してますね。やりたくてたまらないんだ。合奏つてのは実に楽しいものらしいですね。

★何より何より練習場がほしい

小寺 アマチュアのオーケストラを育てるには練習場を提供するのが一番の先決問題です。

それからオーケストラ活動というのは、やっぱり若干

金をくいやすから、援助してやる必要がありますが、文化活動だからといって県や市におんぶしきる姿勢はよろしくないと思います。経費のかさむものは手伝ってやるという程度で育っていくものがありますからね。たとえばオーケストラ活動では、練習会場に大型楽器を据えつける、それから楽譜に金がかかるので少くとも一定のスタンダード・ナンバーの楽譜をそろえるということをすれば、アマチュアのオーケストラ活動は目に見えて活発になると思います。

それから、プロの方は、小杉さんが市に熱心に働きかけておられます、むやみに金をくうものであれば、市としても手を伸べにくいでしょうから、適当な方向、適当な規模でおやりになるのが良いんじゃないでしょうか。京響ですらスタートの時には二管編成でしたからね。それがここまで発展したんですから。

小杉 おっしゃるとおりですね。今回お話ししているのもギリギリの二管編成。定期演奏会をする時には三〇と四〇名のエキストラを入れて、最初はそれでやっていきたく思います。市長さんのお考えも、今小寺さんのご意見と殆ど同じなんです。

というのは市だけいくらかはってみても、これはそうできるもんじゃない。できるだけ広い分野のご援助や賛同がなければ難しいということでしたので、目下細々ながら、いろんな分野の方々にご協力を頼んでいたところなんですね。市にまるまるおんぶするという考えは、私は毛頭持ておりませんし、また、そうあるべきものでもないと思います。

横井 大阪や神戸に行って見た京都の聴衆が育つまでの段階、こちらに振り向かせるまではことに皆が力を合わせていかなければなりませんね。

小杉 それまでは県下の高校、中学、小学校へ音楽教室としてオーケストラを提供して、こちらが出かけていて聞いて頂く、それによって市民に親しみをもつてもらう。市のオーケストラとしてのご理解と音楽教育の向上

これを行うのが私共オーケストラの過半の使命だと思います。大きくなつた場合は、良い音楽を毎月定期演奏会やりたいんですが、それも金がかかることですから定期演奏会を三と四回にとどめて指揮者を固定せず、日本のいろんな良い指揮者の方を毎回変わった形で来てもらつて、変わった音楽を聞いて頂きたいと思っています。

中村 中央公会堂も敷地が狭いので、会議場はあるが、練習場はないと言っています。大きな楽器など出し入れすると、会議場としてきれいに使用するには具合悪いでしょうかし、練習場専属がほしいですね。

編集部 練習場と言葉でいえば簡単ですが、これが一番大事で、音楽ばかりでなし演劇にしても何でも一番基礎になるのですからね。

小杉 練習場として別個のものがほしいですね。夜は合唱団が昼夜はオーケストラが使えるような。

横井 鳴りもの入りで建てられるのに、練習場がないといふのでは、とってもそんなことはすみませんね。音楽会場ができる前に、練習会場がいります。

小寺 練習場は一ヵ所では到底足りません。神戸だけで考えても数カ所必要です。

一般的のアマチュア文化活動は夜です。仕事を終えてかけつけるわけで、一週間でわりふりしたとしたってとてもとも。合唱団だけでも一、三カ所いるでしょう。それに学生のクラブ活動も練習場が多くて困っている現状です。もしさういうものを作つたら申し込みが殺倒するでしょう。それだけアマチュア文化活動が練習場を渴望している訳です。どれだけアマチュア文化活動を貴重だと考えるかということです。それが根本ですね。

（オリエンタルホテルにて・文責編集部）

☆ ☆

☆

神戸ローンテニスクラブの歴史

は四十六年前にさかのぼる。大正十五年十月三十一日、当時の神戸市長黒瀬弘氏を会長に、財界名士の大石川に、さらに昭和三十六年から現在の王子コートに移転した。戦中戦後といろいろ苦難な時代も

なっている。

こうしたクラブの発展のなかで、数多くの優秀選手、名プレイヤーを輩出、昭和四十二年には、その功により県下最高の兵庫県スポーツ賞を受賞したのだが、クラブそのものとしては、『テニスを楽しむところ』という認識が会員の考え方の中心だった。

だが最

近、わが国

庭球界の向

上に資する

という大き

な使命にも

える当クラ

ブとして

は、後進育

成の問題と

真剣にとり

組むことが

必要になつ

てきた。諸

外国では、立

派なプロ、コ

ス

ーチによつて、クラブで優秀な選手を続々養成しており、そうした外国のヤングパワーに対抗するためには、ここで日本の新人養成に大ナタを振わなければならぬいわけで、デ杯に勝つこともむなし夢に終わる可能性がある。

いま世界の沢松として大活躍の沢松順子、和子姉妹にしても、クラブや家庭でマンツーマン方式で育てられた選手だが、彼女たちのようにあらゆる条件に恵まれたものはきわめて少ない。そこで、特定の少数を対象にするより、範囲を拡大し広く熱意のある若ものを集め、テニス練習を通じて心身ともに立派なプレイヤーと人材を養成しようと発足したのがこのジュニアクラブなのである。幸いクラブにはプロコーチこそいないが、元デ杯選手の柴田善久氏、国体連続十回優勝全日本壮年二位でテニスの校長さんで有名な森西正男氏、かつて全日本で活躍した工藤善一郎、松田城作の両氏らが意欲をもってその指導を約して下さい、又森西のパートナーとして国体三回優勝全日本にも活躍された宮村研氏が本業の医師として保健を担当して頂いたことも心丈夫な事である。その他数多くの人達の好意と理解により「成長期にある幼少者に対し、クラブライフ及びテニス練習を通じて、強じんな身体と精神、節度ある生活態度、集団生活に適応し得る資質、健全な思想を体得せしめ将来有為な人材を育成すると」いう目的に一步をふみだしたのは喜ばしい事である。クレーク博士の言葉ではないが「ボーアズ・ビー・アンビシャス！」続け！柴田、沢松姉妹に！

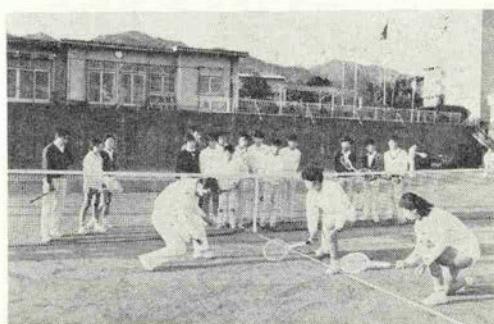
ある集いその足あと

*

神戸ローンテニスクラブ

吉田 稔

〈神戸ローンテニスクラブマネージャー〉

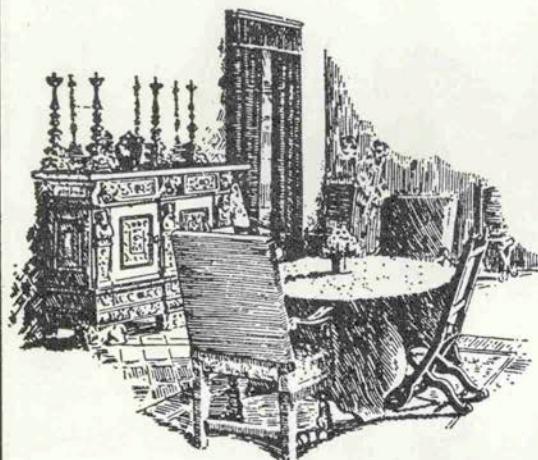


あったが、よく風雪にたえ家族的でだれもが親しめるクラブとして、年々発展を続けてきた。

かつては、平均年令四十五才以上というロートルクラブだったこともあるが、テニス人口の増加から若いプレーヤーもふえ、今までは平均年令も二十代と若がえり、老若一体の仲の良さが亮りものに

沢松順子、和子姉妹にしても、クラブや家庭でマンツーマン方式で育てられた選手だが、彼女たちのようにあらゆる条件に恵まれたものはきわめて少ない。そこで、特定の少数を対象にするより、範囲を拡大し広く熱意のある若ものを集め、テニス練習を通じて心身ともに立派なプレイヤーと人材を養成しようと発足したのがこのジュニアクラブなのである。幸いクラブにはプロコーチこそいないが、元デ杯選手の柴田善久氏、国体連続十回優勝全日本壮年二位でテニスの校長さんで有名な森西正男氏、かつて全日本で活躍した工藤善一郎、松田城作の両氏らが意欲をもってその指導を約して下さい、又森西のパートナーとして国体三回優勝全日本にも活躍された宮村研氏が本業の医師として保健を担当して頂いたことも心丈夫な事である。その他数多くの人達の好意と理解により「成長期にある幼少者に対し、クラブライフ及びテニス練習を通じて、強じんな身体と精神、節度ある生活態度、集団生活に適応し得る資質、健全な思想を体得せしめ将来有為な人材を育成すると」いう目的に一步をふみだしたのは喜ばしい事である。クレーク博士の言葉ではないが「ボーアズ・ビー・アンビシャス！」続け！柴田、沢松姉妹に！

家具・室内装飾・工芸品



永田良介商店

神戸市生田区三宮町3丁目大丸前TEL神戸(39)3737(代表)

東京店・東急百貨店 [日本橋店内1階TEL 03(211)0511
本店(渋谷)7階TEL 03(462)3180]

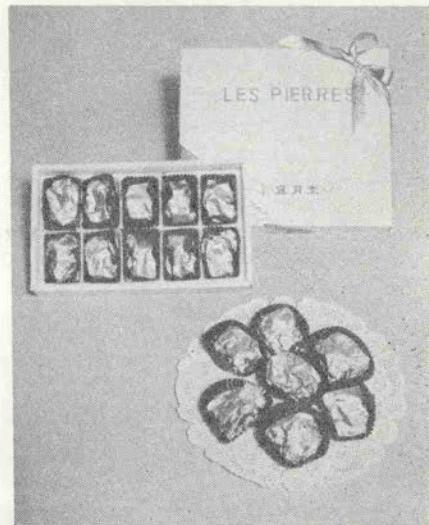
工場 神戸市垂水区多聞町小束山975-35

神戸木工センター TEL (078) 706-5005(代)

LES PIERRES

ラ・ピエール

チョコレートにくるまれた
ご気嫌なマロングラッセ
小さな岩に形どって
ロマンティックな風情をあなたに…。

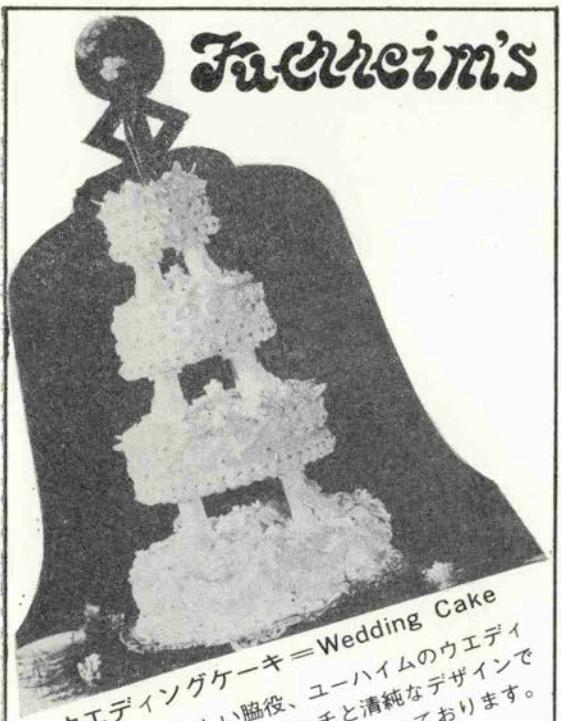


神戸にそだって 70年

夙月堂

元町3丁目 TEL ⑨2412~5

さんちかスイーツタウン TEL ⑨3455



Fuerlein's

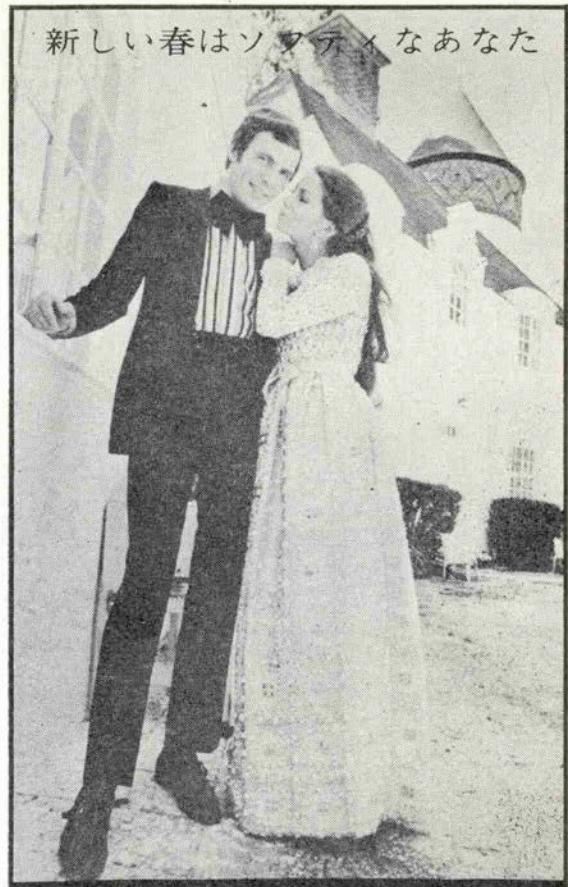
ウエディングケーキ = Wedding Cake
結婚式のすばらしい脇役、ユーハイムのウエディングケーキは、豪快なタッチと清純なデザインで
好評をいただいております。
3,000円よりご相談させていただきます。

ドイツ菓子 ユーハイム

本店 三宮 生田 神社前
TEL (078) 33-1694

三宮店 三宮 大丸 前市電筋
TEL (078) 33-2101

さんちか店 三宮地下街スイーツタウン
TEL (078) 39-3539



O-SHIBATA

柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 神戸 34-0693

大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106